

令和3年神奈川県議会第1回定例会 総務政策常任委員会

令和3年4月20日

佐々木(正)委員

マスク飲食実施店認証制度について、1点だけ御質問させていただきます。

地域を回る委託業者については、くらし安全防災局と同じ事業者を委託先とすると先ほどお聞きいたしました。くらし安全防災局がやる事業とこのマスク飲食実施店認証制度が、連動してしっかりと取り組んでいくことが非常に重要なと認識しています。今、選定をされようとしているこの業者について、業種、幾つかあるかもしれません、どのような業種の事業者なのか、それについて分かれば教えてください。

総合政策課長

現在、他県の先行事例がありますので、それを参考に旅行業者、あるいは通信業者数社から参考の見積りを取って調整をしていると承知しています。

佐々木(正)委員

取組としては、やはりやらされている感じが出ちゃうようでは、非常によくないんじゃないかなと。先行会派の御質問にもありましたように、地域の人たちが力を合わせて行政とやっていこうという意識になっていくことが、私も非常に大事だと思っていますし、自分のお店は安全なんだと、安全・安心で来られる店なんだというような認識を地域に持っていただくことと併せて、そういう業者がどういうような話をするのか、口上をしっかりと考えないといけないと思います。今、ワクチンについても、いろんな委託業者が少し丁寧じゃなかったりすることによって、相手の捉え方もすごく変わってきてしまうということがあります。例えば、くらし安全防災局の仕様書を作成途中の段階で見させてもらい、この認証制度の案内をすることが書いてあるんだけれども、どういうような口上で具体的にやつたら本当に快くやってもらえるか、丁寧な口上を示すことが非常に大事だし、協力につながると思うんですね。そういうことによって、認証制度の登録事業者、お店が増えるということもあると思いますので、その辺について工夫が必要だと思いますが、その辺についてコメントを頂けますか。

総合政策課長

委託業者には、認証制度の周知と案内を行ってもらう予定ですが、実際に委託する事業者は、やはり参考とするマニュアルが必要となってくると思います。その口述に認証されることによるメリットを丁寧に書いて、お渡しをしようと思っています。

今、例えばお客様に安心して飲食できる店舗であることをPRできること、あるいは、県によって様々な方法で全面的にPRするといったことを幾つか口述の例として載せた上で、丁寧に説明をしたいと思います。

その上で、認証制度を通じて店舗の安全・安心をPRして、それを県民に広く伝えることで地域の活性化につながっていくと思っていますので、この制度全体を大いに運用していきたいと考えております。

意見発表

佐々木(正)委員

本委員会に付託された諸議案について、公明党県議団として意見、要望を申し上げます。

マスク飲食の推進に向けた取組については、まん延防止等重点措置が本日から本県に適用される中、感染症に対する県民の意識を高め、行動変容につなげる必要があると思います。県では、マスク飲食実施店認証制度を創設し、積極的にマスク飲食を実践している飲食店等を支援するとともに、SNSを活用し、若年層を中心に広く県民にマスク飲食の普及啓発を図っていくとしています。

具体的には、マスク飲食実施店が工夫や努力をしている点など、優れた取組を利用者の目線で評価し、県に報告を頂くため、県民モニター仮称を公募するほか、利用者の評価専門ダイヤルやウェブサイトによる評価の書き込みなどの活用を図り、特に優れた取組を行っているマスク飲食実施店をマスク飲食完全実施店として表彰することですが、今回の取組が実施手法によって感染症対策をやらされているというような意識になるようあってはいけないと思います。

感染症対策を通して、それぞれの飲食店等が安心、安全なお店として地域から認識され、県と事業者が力を合わせて行い、活性化につながるような取組となるためにも、委託業者に対しては、具体的な口上を丁寧に示し、県内の多くの飲食店等がマスク飲食実施店認証制度に登録されるよう、積極的な取組を要望いたします。

以上、意見、要望を申し述べて、付託された諸議案に賛成します。